

村上英士郎さん 応援レポート

第43回東日本大学対抗ウエイトリフティング

2015年7月5日(日) 埼玉県上尾市スポーツ総合センター

「個人優勝と団体優勝(日本大学)のダブル優勝を狙う」

12月の全日本対抗選手権大会の前哨戦となるこの大会。村上さんは“個人優勝はもちろん団体では優勝して4連覇”と宣言していた。

その勝ちっぷりを楽しみに上尾の会場に向かった。

ウエイトリフティングの大会開催には、重りの衝撃に耐えられる特別な床養生が必要とのこと



1種目。スナッチで大会新記録を挙げた！

+105kg級のスナッチの試技が始まった。試合は、階級別に申請重量が低い選手から順番に試技を行い、村上さんは最後に登場。なにしろ同階級で130kg以下を当日の記録とする選手が多い

中、村上さんは1回から危なげなく146kgを成功させるのだ！(3回の試技を行い最高重量が採用) 体重より重いバーベルを一気に持ち上げるその瞬発力に、目を見張る。

2回目では160kgを挙げて2011年の大会記録を更新、1位の結果。おめでとうございます！3回目でジュニア記録更新をターゲットの175kgに挑戦して失敗したものの素晴らしいチャレンジだった。



① 掴んで



③ 持ち上げる！

② 一気に頭上へ

勝利を超えて自分への挑戦、ジュニア記録・大学記録更新！

少しの間を置いて、次はクリーン&ジャーク。肩まで一度持ち上げて(クリーン)、その後反動で頭上まで持ち上げる(ジャーク)競技だ。ここでも最後に登場した村上さんは1回目ですくっと182kgを成功させた。同じ日本大学の2位の選手が187kgの記録で試合を終えると、その後は村上さんの独

壇場になっていく。2回目の試技で201kgを申請した村上さん。大会記録を塗り替える重量、さすがに重そう、でも挙げた！おめでとうございます！

しばらく間を置いて3回目の試技。ジュニア日本記録は昨年自身が挙げた206kgだ。それに対して村上さんの申請は211kg。

いまや敵も味方も関係なく、会場全体が挙げて欲しい、挙げる姿が見たい！と熱い視線を送っている。村上さんの気迫もすごい。肩まで上がった、バーベルの重さがこちらにも伝わる、全身の細胞がその重さに集中したかのようだ、挙げた！大学記録(210kg)も更新、おめでとうございます！



鋼の筋肉と鋭い反射神経と強い心で、重力に抗う！
ウエイトリフティング連盟の方々からも“すごい”の声が飛び交った

成長を続ける村上さん。応援しています！

試合の直後に村上さんとお話することができた。試合の時と違って変わったすがすがしい表情で「国体でも頑張る」と次への抱負を語ってくれた。

「東京オリンピックを狙う逸材(連盟の方より)」。今回の試合もこれからますます楽しみになる勝ちっぷりだった。改めて、**個人優勝&団体優勝**、おめでとうございます！



試合直後にインタビュー、ありがとうございました！いい笑顔！



ただのバンザイではありません。表彰台の上です(左)宣言通り、日本大学も団体優勝！

試合結果

平成27年度第43回東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会

期 日: 2015年7月5日(日)

場 所: スポーツ総合センター(埼玉県上尾市)

開始時間 13:02 終了時間 14:30

競技委員長	アジュリー	Cレフリー 関 正男	テクニカルコントローラー 藤原 講平
公式記録員	ジュリー 飯野 茂夫	Sレフリー 上野 正雄	古谷 竜彦
	望月 豊司	多小田 一紀	タカキバネ 宮田 英直
		N:日本 J:ジュニア U:大学 C:大会 S:タイ記録 R:新記録	

【+105kg級】

G No.	氏 名	所属	学年	生年	体 重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベ ス ト				トータル		合計得点			
						1	2	3	1	2	3	S	順位	得点	J	順位	得点		T	順位	得点
6	村上 英士朗	日本大学	2	1995	127.35	146	CR 160	× 175	182	CR 201	JNR 211	160	1	8	211	1	8	CR 371	1	8	24
12	持田 龍之輔	日本大学	4	1993	105.02	140	147	150	180	187	× 205	150	2	7	187	2	7	337	2	7	21
9	野中 雅浩	法政大学	1	1996	138.45	140	147	× 150	175	181	× 188	147	3	6	181	3	6	328	3	6	18